

- 問1 明治時代の産業革命において、製糸業と並んで輸出の主力となった産業を総称して何という？
- 問2 下関条約で日本が清から割譲されたものの、三国干渉により返還を余儀なくされた場所はどこ？
- 問3 日清戦争後の講和条約を何という？
- 問4 大日本帝国憲法のもとで、帝国議会の一部を構成し、皇族や華族などで組織された上院を何という？
- 問5 江戸時代から開発が進み、明治時代には大規模な鉱毒被害の原因となった栃木県の銅山を何という？
- 問6 明治政府が近代化の一環として掲げた、官営工場の建設や産業の育成を行う政策を何という？
- 問7 明治政府が近代国家の体制を整えるため、太政官制を廃止して始めた制度は何年？
- 問8 大日本帝国憲法の発布後に初めて開設された、日本における議会の正式名称は？
- 問9 明治時代、八幡製鉄所の建設や日本の重工業発展の基盤となった、戦争の勝利によって得た資金を何という？
- 問10 1905年、アメリカの大統領セオドア・ルーズベルトの仲介で、日露戦争を終わらせるために結ばれた条約を何という？
- 問11 明治時代に福岡県に建設された、日本初の本格的な官営製鉄所を何という？
- 問12 日露戦争の終結にあたり、1905年にアメリカの仲介で結ばれた講和条約を何という？
- 問13 明治時代の工業化の進展により、輸入に頼っていた状況から国内で自給できるようになり、やがて輸出品へと変化した繊維製品を何という？
- 問14 生産手段を社会全体で共有し、平等な社会を実現しようという社会主義思想を体系化したドイツの思想家は誰？
- 問15 明治政府が欧米諸国との不平等条約において、日本が主権を侵害されていると感じていた司法上の権利を何という？
- 問16 鹿鳴館で欧米の外交官らを招いて行われた、近代化をアピールするための社交行事を何という？
- 問17 フランスで印象派の画風を学び、帰国後に日本画壇で「湖畔」などを発表して近代洋画の先駆者となった画家は誰？
- 問18 文明開化の時期に日本で流行した、牛肉を野菜などと一緒に煮る料理を何という？
- 問19 第一次世界大戦において、軍事だけでなく国民のあらゆる物資や労働力を動員して行われた戦争の形態を何という？
- 問20 明治時代、郵便制度の普及により新聞や雑誌が全国へ運ばれるようになり、広く国民に伝えられるようになった政治的な動きを何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 軽工業	初期の産業革命において、綿糸や絹糸などの生産を中心とする軽工業は、日本の輸出の大部分を占めるまでに成長しました。国内の需要をまかなうだけでなく、海外へも輸出することで外貨を獲得する役割を果たしました。
問2	答え 遼東半島	しかし、この地の支配を警戒したロシアは、ドイツ・フランスを誘って日本に清への返還を要求しました。これが三国干渉です。軍事的に不利な状況にあった日本は、この要求を受け入れて返還しました。
問3	答え 下関条約	1895年に山口県下関で、伊藤博文と李鴻章によって調印されました。主な内容は、清が朝鮮の独立を認めること、台湾・遼東半島・澎湖諸島を日本に割譲すること、巨額の賠償金を支払うことなどでした。
問4	答え 貴族院	貴族院は、皇族や華族、多額納税者などで構成され、民意を反映する衆議院に対して、政府寄りの立場をとることが多かったです。法案の審議において衆議院と対等な権限を持っていました。
問5	答え 足尾銅山	明治時代には最新の技術を導入し、日本最大の産銅量を誇るようになりました。しかし、精錬の過程で出る有害物質を適切に処理しなかったため、周辺の山林が枯死し、渡良瀬川の水を汚染する大問題となりました。
問6	答え 殖産興業	殖産興業政策として、富岡製糸場などの官営工場を建設しました。また、鉄道の敷設や郵便制度の整備、電信の普及など、産業の発展を支えるインフラも一気に整えられました。
問7	答え 1885年	1885年に内閣制度が創設され、各省庁の上に内閣が置かれる体制となりました。これにより、責任の所在が明確になり、天皇を支える最高行政機関として、より迅速かつ効率的に政治が行えるようになりました。初代内閣総理大臣には伊藤博文が就任しました。
問8	答え 帝国議会	帝国議会は、皇族や華族などで構成される「貴族院」と、公選された議員で構成される「衆議院」の二院制で運営されました。予算の決定や法律の制定などを行い、国家の重要事項を審議しました。
問9	答え 賠償金	1895年の日清戦争に勝利した日本は、清から多額の賠償金を得ました。政府はこの賠償金を八幡製鉄所の建設費や、軍備の増強に充て、重工業を発展させるための資本としました。
問10	答え ポーツマス条約	1905年に結ばれたポーツマス条約により、日本は韓国での優越権や、ロシアから南樺太などを譲り受けました。一方で、期待されていた賠償金が得られなかったため、日本国民の間には大きな不満が広がりました。
問11	答え 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に福岡県に建設された日本初の本格的な官営製鉄所です。日清戦争で得た賠償金を資金源として建設され、最新の欧米技術を導入しました。これにより、鉄道建設や軍事目的で必要となる鉄鋼の安定供給が可能になりました。
問12	答え ポーツマス条約	アメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの仲介で、1905年に締結されました。この条約で日本は朝鮮半島での指導権を認められ、樺太の南半分や遼東半島の租借権などを獲得しました。しかし、国民が期待していた賠償金が得られなかったことは大きな不満となりました。
問13	答え 綿糸	紡績業の発展により、日本国内で綿糸を大量に生産できるようになりました。これにより、輸入に頼っていた状態から脱却し、むしろ海外へ輸出するほどの主要な輸出品へと成長を遂げました。
問14	答え マルクス	ドイツの思想家マルクスは、資本主義社会を分析し、生産手段を一部の資本家が独占していることが格差の原因であると指摘しました。彼は、生産手段を社会全体で共有し、階級のない平等な社会を目指す思想を体系化しました。彼の著作は、世界中の労働運動や社会主義運動に計り知れない影響を与えました。
問15	答え 領事裁判権	この権利により、外国人は日本の法廷に立つ必要がなく、日本側は司法の主権を制限される形となりました。日本政府にとって、この権限の撤廃は独立国としての威信をかけた大目標でした。
問16	答え 舞踏会	外務卿の井上馨が建築した鹿鳴館において、西洋式の夜会や舞踏会が頻繁に開催されました。日本の要人や外交官が洋服を着て参加し、西洋風の生活様式を模範として披露しました。
問17	答え 黒田清輝	黒田清輝はフランスへ留学し、戸外制作や明るい色彩を特徴とする「印象派」の技法を学びました。帰国後、彼は「湖畔」などの作品を発表し、それまでの日本の油絵とは異なる、光の輝きを表現する新しい画風を日本に定着させました。また、美術団体である「白馬会」を結成するなど、後進の育成や展示会の開催を通じて日本の洋画界を牽引しました。
問18	答え 牛鍋	文明開化の象徴として、西洋から伝わった牛肉を日本の鍋料理の形式で食べる「牛鍋」が都市部を中心に大流行しました。これを食べることは文明的な態度であるとされ、食習慣の大きな転換点となりました。
問19	答え 総力戦	総力戦とは、兵士だけでなく工場労働者や女性なども含め、国家のすべての資源・物資・国民を戦争遂行のために動員する戦い方です。これにより、軍事のみならず国民生活全体が戦争の影響を直接受けるようになりました。
問20	答え 自由民権運動	1874年に板垣退助らが民撰議院設立建白書を提出したことから始まり、全国的な広がりを見せました。郵便制度や新聞の普及によって、各地で演説会が開かれ、憲法草案の議論も活発に行われました。